

# 標茶町議会第1回定例会

一般質問通告一覧

令和5年2月24日

No. 1

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
10番	黒沼俊幸	1. 「憩の家かや沼」の指定管理者はどうなるのか	<p>・私は令和4年9月の定例会で「憩の家かや沼」における改修工事の金額や改修工事の完成時期及び開業の時期について一般質問をしている。建物は令和4年11月に完成し、開業予定は令和5年6月になるとの回答でした。その後、令和4年12月の定例会で指定管理者の永寿優企画の代表者からの辞退届があったとの報告を受けている。そこで次の3点について質問する。</p> <p>①私はこの公募に関して、指定管理者の指定はスムーズなものだったと理解しているが、ここにきてなぜ辞退に至ったのか理由と辞退届を受け取った時の見解を聞きたい。</p> <p>②この任意団体は法人として指定管理者の要件を満たす企業の形態にならないまま終息したことになるが、町側はこの2年間どういう対応をしてきたのか。</p> <p>③指定管理者不在のままというわけにいかないと思うが、今後、再募集するのか。町内の方ばかりでなく町外の方も公募の対象になるのか。いつまでに決定しようとするのか。</p>	町長	
		2. 阿歴内地区の防災井戸はどうなっているか	<p>・昨年もこの件で2度ほど質問をしているが、阿歴内地区の防災井戸の整備について、場所及び掘削の予定は決まったか伺います。</p>	町長	
11番	鴻池智子	1. 「書かない窓口」の開設で行政業務の効率化を	<p>・「書かない窓口」とは、役場窓口で行う様々な手続きを申請書の記入が不要になるというものであり、すでに道内では北見市が開設しています。これまでは、記入誤りや記入漏れがあれば書き直しになり、手続きに時間がかかっていました。「書かない窓口」では各種、証明書を申請する際にマイナンバーカード等身分証明書を提示すると職員が必要事項をパソコンに打ち込み記入し、利用者は完成した申請書を確認し署名するだけで完了となります。利用者と職員双方に手続き時間の短縮や業務改善といったメリットがあります。役場内にもデジタル推進係がありますので、行政改革として検討するべきと考えます。そこで、以下のとおり伺います。</p> <p>①現在の窓口手続きの状況はどうか。</p> <p>②窓口設置をしている自治体への視察や調査等行うべきと考えるがどうか。</p> <p>③デジタル社会に向けスマートフォン等使用に不慣れな人に対する支援体制をこれまで以上に強化していくべきと考えるがどうか。</p> <p>④マイナンバーカードの登録率はどうか。</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
8番	深見 迪	1. 教職員の長時間労働の改善を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文部科学省が2022年12月に設置した「質の高い教師の確保のための教職の魅力向上に向けた環境の在り方等に関する調査研究会」によると、小学校で月に約59時間、中学校で月に約81時間の時間外労働が発生している状況が示された。労働基準法では、月に45時間を超える時間外労働は原則禁止されているが本町の学校現場ではどのような実態か。</li> <li>・ 「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」（給特法）によって、残業代が支払われないよう定められているため、教職員はいくら残業をしても残業代は払われない。昭和47年1月1日施行の給特報は、施行されても半世紀50年も経ている。給料の4%を増額する代わりに、その何十倍もの残業代なしの長時間労働を強いられている教育現場の在り方について、教育長の所見を伺う。また、政府においてこの見直しの声が上がっていると聞いているがその内容はどのようなものか。またこのような残業代ゼロ制度の抜本的見直しの見直しはあるか。</li> <li>・ 教員の働き方改善に必要な教員定数増と少人数学級の見直しについて教育長の所見を聞く。</li> <li>・ 公立中学校の休日の部活動について、文部科学省は、2025年度までを目標に、地域や民間クラブなどへ移行することを目指していたが、各自治体の状況からこの目標を先延ばしにしようとしているが、本町の場合現状と併せて、教職員の働き方改革の観点からこの目標についてどのような所見を持っているか。</li> <li>・ 国の調査では、うつ病など精神疾患から休職に陥る教員は毎年5,000人以上いると見られ、これは当然、子ども達の授業環境にも影響が出ている。本町ではどのような実態はないか。</li> </ul>	教育長	
		2. 令和5年度から休校となる予定である塘路中学校の早期再開を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒数ゼロのため塘路中学校が令和5年度から休校予定と聞いている。町長の町おこしの重要な公約の一つとして、塘路に住宅も建て、町外から人を呼び込む計画があったと思うが、塘路に住み続けたいと思える条件で推進し、子どもも増えていくような施策を実行に移してはどうか。</li> <li>・ 塘路は本町発祥の地であり、大人はもちろん子育てにとっても魅力的な環境であると考えている。塘路中学校は、NHKのドラマ「中学生日記」の舞台にもなった学校である。本町の玄関ともいえる塘路の発展は、本町の発展にもつながると考えるが、町長の所見を伺いたい。</li> <li>・ 塘路住民との懇談会ではどのような要望・意見が出たか。また、今後さらに懇談会等を開催する予定はあるか。</li> </ul>	教育長 町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
8番	深見迪	3. 障がい者に必要なグループホーム施設を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の方針である「住み慣れた町で安心して暮らせるまちづくり」は差別なくあまねく本町で暮らす住民への町長の基本方針であると考えているが、町長の所見はどうか。</li> <li>・障がいのある子どもの親、保護者が高齢で、万が一の事態が起きたときに子どもが安心して暮らせる場所を用意しておきたいというのは、今までも町民から要望が出ていたと思うが、どのような要望があるか把握しているか。把握している内容について聞きたい。</li> <li>・障がい者に必要なグループホーム施設については、様々な施設の在り方がある。障がい者グループホームは、そのニーズによって、「介護サービス包括型」「日中活動サービス支援型」「外部サービス利用型」などがあるが、障がいがあっても、自立して生活ができる環境を整えることが必要であると考えている。そのような施設についての町長の所見を聞く。</li> <li>・民間で新たに建設することも考えられるが、建設費、24時間体制での人件費等多額の費用が必要であるが、町としての支援の考えはないか。あるとすれば具体的にどのような支援か。</li> <li>・軽度の利用者の場合、一般住宅（アパートやマンション、一軒家など）を利用したり、すでに平成8年に公営住宅法が改正されたことから、公営住宅にも障害者グループホームを設置できるようになったので、柔軟にこのような方法も考えてはどうか。</li> </ul>	町長	
2番	櫻井一隆	1. 憩の家かや沼の落雪事故の要因と今後の対策について聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年12月22日に降った雨混じりの雪が1月上旬に溶けて地上高約3.8mの屋根から雪と氷の層になり滑り落ち、軒先から約1.3mの位置に在る空調設備等を直撃し上部を破損する事故が発生した。</li> <li>（1）この事故の発生は建造物設計上の問題があったのではないかと思うがどうか。</li> <li>（2）今は雪に埋もれているので全てを確認することはできないが、確認できる破損部分の修復など以下の点について伺う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①空調設備、電源設備の修復と適切な落雪対策について。</li> <li>②機械室の壁から出ている各種電気ケーブルの保護ケースはプラスチックで出来ており破損している。強度不足と思うのでもっと強靱な被覆対策をしてはどうか。</li> <li>③宿泊棟に行く廊下の屋根が一部変形している部分の修理について。</li> <li>④エレベーター施設の外壁に落雪が直撃し雪の山になっている。抜本的な落雪対策が必要でないか考えを伺う。</li> </ul> </li> </ul>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
2番	櫻井一隆		<p>⑤修理費及び諸費用は誰の負担になるのか。保険での対応は可能なのか伺う。</p> <p>⑥空調及び電源設備の設置場所はあまりにも近いので移動させるべきではないか。</p> <p>⑦施設は機械警備で行われているが不安である。人による警備が必要だと思いが考えを伺う。</p> <p>⑧施設の開業予定は最短でR 6年9月頃になるようだが、それまでの間、室内管理は空調による管理だけで良いものなのか疑問がのこる。再考すべきでないか。</p>		
1番	渡邊定之	1. 必要な集落にデイサービス施設を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールドプラン21では「一中学校区で一つのデイサービス」を目標にしていた。そのころ標茶町には9校の中学校があった。これらの中学校は、現在4校に減っている。しかし、これらの中学校区の集落は人口こそ減ってはいるが、高齢化が進み、介護サービスを必要としている高齢者は増えている。交通手段の確保も含めてデイサービスの開設を地域の協力も得ながら進めるべきと考えるがどうか。</li> <li>・その際マンパワー、施設、内容も含めてどのような形が望ましいか、また可能か地域と直ちに協議することは喫緊の課題と考えるがどうか。</li> <li>・町長も昨年第4回定例会においてその必要性に触れていたが、現在考えている構想があれば伺いたい。</li> </ul>	町長	
		2. 酪農、畜産の危機的現状を乗り越える実効ある施策を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞、TV等で報道されている酪農、畜産の危機的状況は本町においても同じであると考えますが実態について伺う。</li> <li>・根釧の酪農について議論する組織として「根釧酪農ビジョン」をはじめ、農協を中心とする組織があるが、どの程度の頻度で議論されているのか。また、その主な内容について聞く。</li> <li>・国の対策として「乳牛リタイア事業」、「セーフティネット資金」等が出されているがどの程度活用されているか。</li> <li>・このような生産制限を前提とした対処療法的な施策では現在の危機的状況を乗り越えることはできないと考える。今後持続可能な酪農、畜産経営に結びつく施策が今、最も重要であると考えますが町長の所見を聞く。</li> </ul>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
4番	松下哲也	1. 家畜検査センターの概要について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R 4 年12月定例会に於いて町長の2期目に向けての町政執行方針が示された。5つの大きな柱として町づくりに取り組んでいくと述べられている。2項目に〔環境に配慮した、元気な産業の創造を目指して〕と掲げている。その中に、安全安心な牛づくりを進めるためには家畜の疾病対策が重要であり、そのために家畜検査センターを本町に設立するための支援を行うとある。本町には疾病治療機関として家畜共済組合並びに開業獣医師がおり、伝染病対策として家畜自衛防疫連絡協議会を組織してワクチン接種業務を行っている。家畜検査センター設立に当たって次の点について町長の所見を伺う。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家畜検査センターの業務はどのような事を行うのか</li> <li>2. 協議をしている組織は何処か</li> <li>3. 設立するための支援とあるが、設立後の運営形態とどのような人材を確保していくのか</li> <li>4. 設立目標年度は</li> <li>5. センター設立により基幹産業への寄与、効果をどう反映させるか所見を伺う。</li> </ol> </li> </ul>	町長	
		2. 広域連携ブランド化推進事業の今後の施策は	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R 3 年度より開始された本事業であるが、4年度は昆布のほかにホンダワラも使用しての取組みであったと承知している。酪農学園大学の研究グループはコンブ、未利用海藻を与えた牛について、肥育牛に多い肝臓病(肝膿瘍)を発症する確率が低下したことを報告した。調査に協力した本町の獣医師は「海藻の成分が病気を防いだ可能性が高い」とコメントしている。非常に良好な結果が出ている中で今後のどの様に取り組むしていくのか伺う。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原材料の安定供給が図られるか、乾燥工程作業をどうするか</li> <li>2. この事業は本町と鉏路町がブランド牛開発を目的として立ち上げたものであるが、ふるさと納税返礼品として取り扱う事業者の募集と支援をすべきではないか。</li> <li>3. 近隣町村でも新たなブランド牛の報道がされた。本町も更にスピード感をもって取り組むべきではないか。</li> </ol> </li> </ul>	町長	
		3. 学校給食に地元食材の利用をふやせないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新年度から小中学校の給食費の無料化を実施することになり保護者の経済的負担のさらに軽減されることになった。一昨年の僻地保育所への給食提供とあわせて、地域全体で子供たちを育てるという視点での取組みであるが、実施にあたり町長の思い等を含め所見を伺う。</li> </ul>	町長 教育長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求めめる者	答弁内容
4番	松下哲也		<p>新設された学校給食共同調理場も順調に運営され、またふるさと給食では食材を提供して頂いている団体、事業主の方々に敬意を表す。食材の調達について以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 給食1食当たりの単価設定の基準は</li> <li>2. 食材納入先の選定、決定方法は。また年何回行われるのか</li> <li>3. 地元産の食材、本町の事業者の加工品の使用回数を増やし経済の活性化を図る事も大切と考えるがいかがか</li> </ol>		
		4. 釧路川整備計画改定の内容は	<p>・開発局は、2008年策定した釧路川水系河川整備計画の見直しを進めているという新聞の記事報道がされた。記事によると気候変動に伴う近年の自然災害の激甚化を踏まえ、釧路川上流の氾濫対策を強化する方針。今後30年間を対象期間とする原案である。地球温暖化で平均気温が2度上昇すると、道内の降雨量は1.15倍増加し釧路川が氾濫しやすくなり、特に市街地の中を流れる標茶町の被害が大きくなるという。原案では、氾濫せずに流れることのできる町内の水の量を引き上げることを盛り込み、川の道筋を掘削し流量を確保するとしている。この計画では工事を行う範囲は何処までか、河川敷公園に影響は出ないのか、本町の内水対策との関連はどうとらえるのか伺う。</p>	町長	
9番	本多耕平	1. 給付型奨学金制度を設けるべき	<p>本町における核家族化、そして高齢化が進むなかでも標茶に生まれ、標茶で生涯を過ごせてよかったと多くの町民が思い願うまちづくりになっているのでしょうか。各種福祉支援、子育て支援など厳しい町財政の中でもスピード感のある各種事業展開をしなければなりません。私は先の議会でも質問をしましたが、人材教育、人材確保は各種施策を支える立場から給付型奨学金制度等を設けるべきとあらためて町長と教育長の所見を伺う。</p> <p>先の全員協議会でも説明された町立病院の看護師不足による運営問題。さらにはやすらぎ園を含む介護士不足、保育士不足等多岐にわたる人材不足が現実である。本町の責任で持続的に人材を育て、確保することこそ行政の責任であると考えますがいかがでしょうか。</p>	町長 教育長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
6番	鈴木裕美	1. フッ化物洗口 の中止を	<p>虫歯予防のためのフッ化物洗口について、平成26年6月以来、何度か一般質問で安全性などを質し中止を求めてきたが、中止されていない。</p> <p>しかし、コロナ感染拡大の中でうがいによる飛沫感染を防止するため、小学校では現在中止されていると聞いている。</p> <p>コロナへの対応は緩和の方向にあるが、感染の心配は今後も続くことと、フッ化物の安全性への疑問も解明されていないことから、フッ化物洗口を再開すべきではないと考えるがいかがか。</p>	町長 教育長	
		2. 持続可能な開発目標SDGsへの取り組みについて	<p>2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標SDGsに関して、最近様々な機会に取り上げられている。</p> <p>未来のために大切な課題であり、町もできることを取り組むべきと考える。</p> <p>本町が行う事業について、SDGsの取り組みを意識した実施方法や発注について検討してはどうか伺う。</p> <p>町民1人ひとりが取り組む身近な課題を示すなど、啓発を行うべきと考えるがいかがか。</p>	町長	
		3. 自宅前での期日前投票を	<p>十勝管内士幌町において、有権者の自宅を訪問する期日前移動投票所を導入する報道があった。</p> <p>本町も高齢者等の投票行動を助けるため、すでに導入している移動式投票所を一步進め、希望者の自宅前での期日前投票を実施する考えはないか伺う。</p>	選挙管理委員会委員長	